



取扱説明書

リアカメラ

品番 CA-RDR10D

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.3～5)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。

主な適合機種(2021年9月現在)

- ドライブレコーダー
CA-DR10CBJ
詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。

保証書付き

もくじ

内容物の確認	2
安全上のご注意	
安全上のご注意	3
はじめに	
使用上のお願い.....	6
各部のなまえとはたらき	7
取付と配線	
取り付け・配線の前に	8
作業の順序	8
取り付け位置について	9
接続する	9
取り付け位置を決める	10
リアカメラを取り付けて配線する.....	12
必要なとき	
他の車に乗せ換えるときは	14
故障かな!?	15
仕様	16
保証とアフターサービス	17

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 リアカメラ本体	1
②	 リアカメラ接続ケーブル (8.5 m)	1
③	 結束バンド (200 mm)	20
④	 コードクリップ	6
⑤	 ウレタンテープ (100 mm x 200 mm)	1
⑥	 エッジ保護シート (100 mm x 200 mm)	1
⑦	 クリーナー	1

主な添付品

取扱説明書(本書)	1
-----------	---

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

お願い

- 梱包箱には、本製品の製造番号が印字されたラベルが貼布されています。梱包箱を廃棄前に、必ず本書P.18の記入欄に製造番号を控えておいてください。控えを取らずに箱を廃棄すると、製造番号を確認できません。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC 12 V ⊖アース車専用です**
DC 24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部のサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがあります。

 **分解や改造をしない**
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
● コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
分解禁止

取り付けや配線をするとき



警告



取り付けに、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

取り付けや配線をするとき



注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。

取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



振動のある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

ご使用になるとき



警告



故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。

水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



注意



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

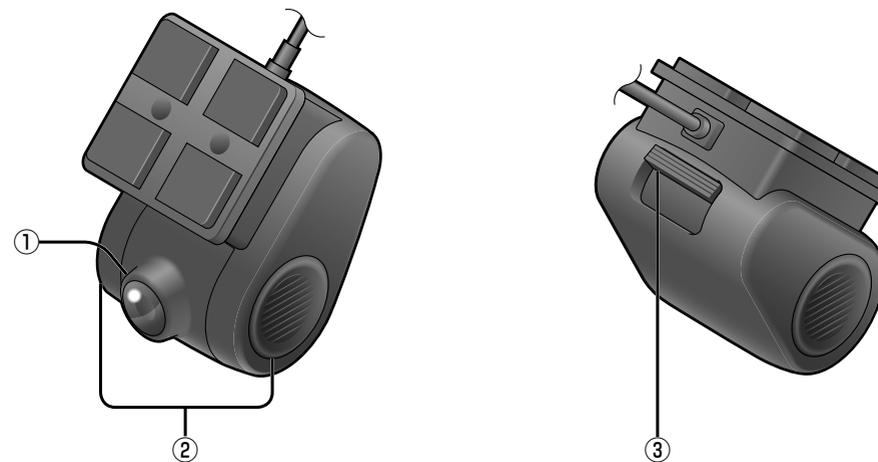
故障や火災の原因となります。

使用上のお願い

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合

各部のなまえとはたらき



①	レンズ	●後方の動画録画・静止画撮影に用います。 少ない光量でも録画・撮影ができます。 ●動画・静止画は、鏡像で記録されます。
②	ダイヤル	●上下の角度を調整するときに操作します。 調整範囲：0°～60°
③	ロックレバー	●上下の角度を固定します。 ※調整するときは、必ずロックを解除し(ロックレバーを下げる)、 調整を終えた後、必ず固定(ロックレバーを上げる)してください。

お願い

- カメラのレンズを手で触らないでください。

取り付け・配線の前に 作業の順序

本書は、ドライブレコーダーCA-DR10CJB(別売)との接続を例に説明しています。

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(P.2)
- 水平で平坦な場所に停車して作業してください。
- 車両装備品の動作を妨げないように、取り付けや配線をしてください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

- **取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。**
- **車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。**

お願い

- カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、結束バンドや市販のテープなどで要所を固定してください。やむを得ず、車体のフレームなど鋭利な金属部の近くにコードを引き回す場合は、付属のエッジ保護シートでコードを保護してください。
- 各種アンテナ(ラジオ、GPS)、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けしないでください。

取り付け・配線に必要な道具

- ニッパーなどの一般工具
- 布きれ(両面テープなどを貼り付ける位置の汚れをふき取るのに使用します)
- 養生テープ(リアカメラの取り付け位置の目印に使用します)

作業の順序

1 接続する
→P.9

- 接続後、車のエンジンをかけてください。(ACC ON)

2 取り付け位置を決める
→P.10

- 取り付け位置を決めたら、車のエンジンを切ってください。(ACC OFF)

3 リアカメラを取り付けて配線する→P.12

- 配線後、車のエンジンをかけてください。(ACC ON)

取り付け位置について

下記の条件を満たす位置に取り付けてください。

- 後方視界を妨げない位置
- リアガラス内側の上部中央付近

性能を十分に発揮するために、下記を守って取り付けてください。

- リアガラスの熱線が映らないように取り付けてください。

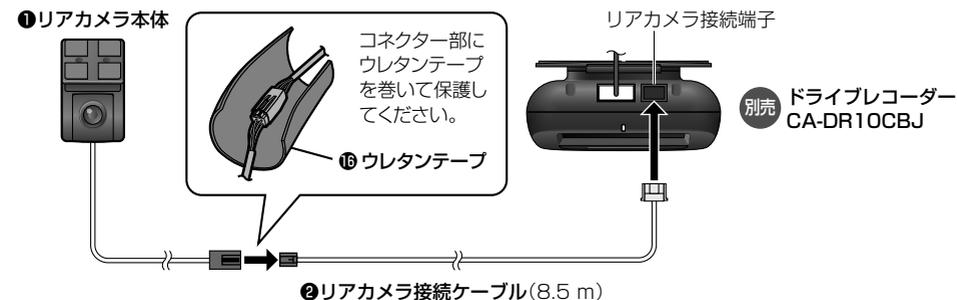
貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、指定の位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。

- ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
- 界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

下記のような車両には取り付けられません。

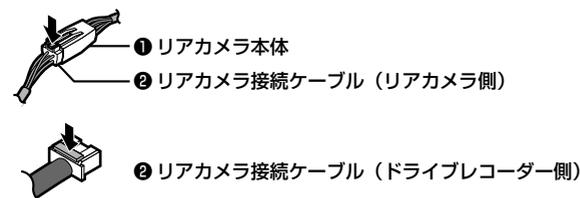
- リアガラスが可動する車両
- バックドアが上方向以外に開く車両(スライド式・横開きなど)
- リアガラスに遮光フィルムが貼り付けられた車両

接続する



■ ロック付きコードの取り外しかた

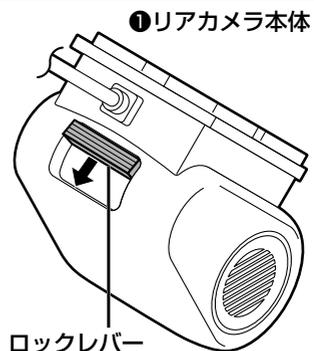
ロックを押しながら、取り外す。



取り付け位置を決める

上下角度を調整する

- 1 ロックレバーを下げる
- ロックが解除されます。

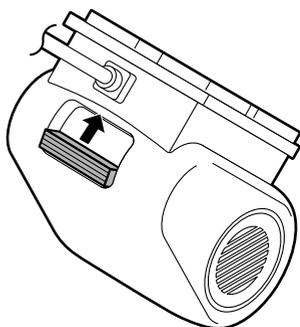


- 2 取り付け位置の見当を付け、リアカメラをあてがい、両側面を持って、上下角度を調整する
- 裏紙はまだはがさないでください。

■ 調整範囲：0°～60°



- 3 ロックレバーを上げ、ロックする
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。



仮止めして取り付け位置を決める

- 1 リアカメラ本体を市販のテープなどで仮止めする
- 裏紙はまだはがさないでください。



- 2 車のエンジンをかける (ACC ON)
- ドライブレコーダーの電源がONになります。

- 3 ドライブレコーダーの液晶ディスプレイに、リアカメラの映像を表示させ、リアカメラの映像を見ながら、カメラの貼付位置・上下角度を微調整する (調整のしかた→P.10)

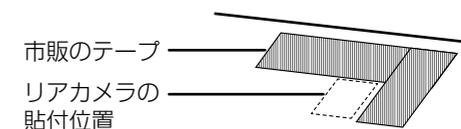


ドライブレコーダーのカメラモニター画面で、**FR**を押す

- 押すごとに、前方の映像・後方の映像が切り換わります。
- ドライブレコーダーの操作について、詳しくはドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●微調整しても映像が適切な角度にならない場合は、仮止めからやり直してください。

- 4 リアカメラの貼付位置に市販のテープなどで印をつける



- 5 車のエンジンを切り (ACC OFF)、ドライブレコーダーの電源コードのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットから取り外す。

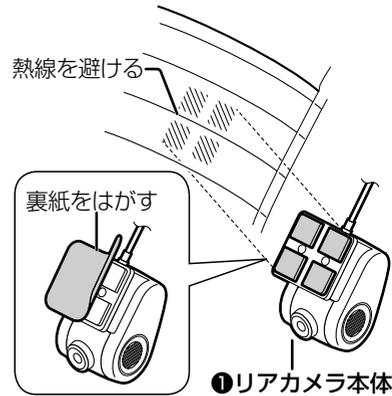
リアカメラを取り付けて配線する

1 裏紙をはがす

- 粘着テープの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。

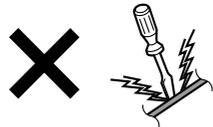
2 リアガラスにしっかりと貼り付ける

- 熱線を避けて貼り付けてください。
- しっかりと定着させるため、リアカメラをリアガラスに十分に押しつけてください。
- 押しつける際、本体部を押さずに、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。
- 貼り付けたあと、位置決めを使用した市販のテープをはがしてください。



3 コードを引き回す

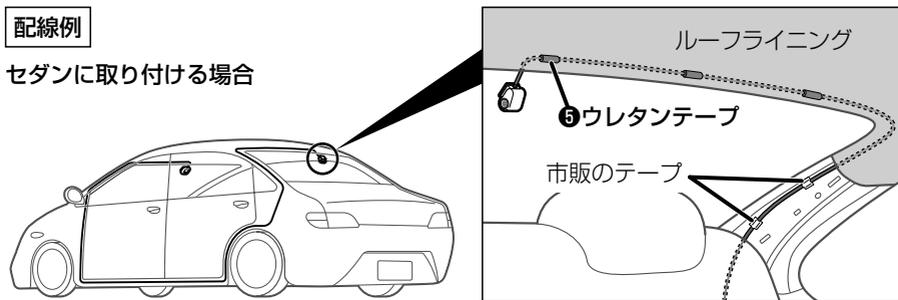
- 必要に応じて付属の結束バンドや市販のテープなどでコードを固定してください。
- 他のコード類が配線されている場合はできるだけ離し、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。
- ルーフライニングに押し込んでもコードが外に出る場合は、コードにウレタンテープを巻き付けて、ルーフライニングから出ないようにしてください。



リアカメラ接続コードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフライニングの端から無理に押し込んだりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。

配線例

セダンに取り付ける場合

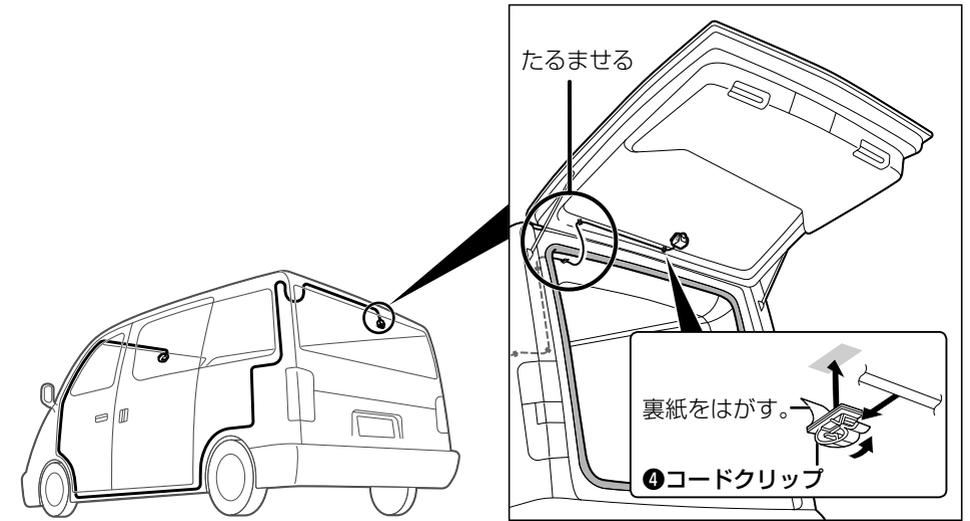


- ハッチバックの車に配線する場合は→P.13

4 ドライブレコーダーの電源コードのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットに挿入する

■ハッチバックの車に配線する場合

- 車のドアを完全に開ききった状態で、車のパッキンに挟まないよう、リアカメラのコードを取り付けてください。
- リアカメラのコードは、ドアの開閉部分をたるませて、コードクリップで取り付けてください。



他の車に乗せ換えるときは

本機の取り外し、乗せ換えのしかたなどについては、お買い上げの販売店、取付店、またはDriving!専用窓口(パナソニック)にご相談ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、まずは次の内容をご確認ください。
処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	内 容	ページ
動 作	カメラ映像が映らない 車のエンジンがかかっていない。 ●エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	—
	正しく配線されていない。 ●配線を確認してください。	9
映 像	映像が見えにくい 暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ●故障ではありません。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが汚れている。 ●汚れを拭いてください。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが結露している。 ●ヒーターなどで車内を適温に保ち、結露が取り除かれるまでしばらくお待ちください。	—
	映像が白っぽい、映像に白線(光の線)が出る 太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。 ●映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。故障ではありません。	—

万一、故障や異常が起これたら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

リアカメラ本体	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	36 mm × 61 mm × 42 mm
質量	約67 g
推奨動作温度	-10℃～+60℃ ●バッテリー駆動の場合は 0℃～+60℃
カメラ部	
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	高画質: 1 920 × 1 080 標準画質: 1 280 × 720
画像補正	HDR
フレームレート	高画質: 28 fps 標準画質: 14 fps
画角	水 平: 116° 垂 直: 62°

● 寸法・質量はおおよその数値です。

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理をされるときは

「故障かな!？」(P.15)でご確認のあと、なおらないときは、まず電源を切り、お買い上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	リアカメラ
品番	CA-RDR10D
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

使いかた・お手入れなどのご相談

■ 電話番号

◆ Driving! 専用窓口(パナソニック)

 **0120-878-255**

● 受付時間

平日9:00～17:00

(年末年始、お盆休み、土日祝日等は除く)

- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。